

# 常任委員会視察報告

## 総務委員会（二宮 仁委員長）

平成28年11月17日（木）～18日（金）

総務委員会では、山口県周南市の「公共施設再配置計画」、大分県日田市の「水郷ひた応援交付金事業」について視察しました。

周南市では、平成24年10月に公共施設の再配置計画を公表しましたが、施設廃止の地元住民の反対運動が起こり、いったん計画案を取り下げています。改めて平成25年11月に公共施設白書を作成し、その上で翌年3月に再配置基本計画を示し、翌年8月に再配置計画策定にこぎ着けました。人口減少予測の中で公共施設の規模の維持は多くの自治体にとって課題であり、統廃合には市民への説明手順、漫画表現などの啓発方法などが大切なことを学びました。

日田市では、町内会まで指定して納めることができるふるさと納税制度により集まった資金を町内会活動の活性化に役立つよう分配する制度を構築しています。町内会等を支援する方法のヒントを得ることができました。



## 民生委員会（宮地寛行委員長）

平成28年11月17日（木）～18日（金）

民生委員会では、京都府福知山市の「市民病院の経営改善」、兵庫県篠山市の「手話言語条例」についての取り組みを視察しました。

福知山市市民病院では医療スタッフ（医師・看護師など）の確保策として、働く環境の整備を行い、平成19年に総工費約170億円 で病院を新築オープン。奨学金制度、研修費の補助策、医師事務作業補助者の配置、院内保育所の設置などを手がけました。また、もっとも重要なのは院長による講演会の開催により、病院の方針・考え方を全職員に浸透させ、職員の意識改革による経費の削減が図れたことです。

篠山市では「手話言語条例」を全国9番目に制定しました。制定以降は職員の手話意識が高まり、昼休みの手話教室が月に2回行われ、基本目標として「手話で会話ができる篠山市を目指す」という取り組みが行われていました。



## 文教委員会（田頭敬康委員長）

平成28年11月8日（火）～9日（水）

文教委員会では、子育て支援事業の取り組みとして、給食費無料化事業を実施している兵庫県相生市と、小中一貫教育アクションプランの中で学力向上に取り組み、成果を上げている大阪府寝屋川市を視察しました。

初日の相生市では、定住・子育て支援事業「11の鍵」の中で、給食の無料化事業について説明を受けるとともに、無料給食を試食しました。給食は、ボリューム感もあり、美味でありました。本市も頑張つて、都市間競争に負けなような努力が必要だと思いました。2日目の寝屋川市では、小中一貫教育アクションプランを実施して、学力向上に取り組んでおり、単市で相当数の教育支援員等を措置していました。このことに対する県や国からのクレームは、あまりないようです。また、真の学力向上のために、小中一貫教育の中で、教員等が一致協力して取り組むことも重要である旨の教示をいただきました。



## 産業建設委員会（前田孝人委員長）

平成28年11月21日（月）～22日（火）

産業建設委員会は、高知市の「観光振興」、宇和島市の「養殖漁業」について視察しました。

高知市は、観光振興を着実に前進させるため、数ある観光資源の中から「龍馬」「よさこい」「鯉（かつお）・酒等のグルメ」をキーワードに観光振興計画を策定し、観光プロモーションの推進や、観光客と直接対話する方式のアンケート調査等、計画の成果を確認しながら観光振興に取り組んでいます。

宇和島市は、リアス式海岸を活用した養殖漁業に力を入れています。高齢化が進む水産業の活性化と振興を図るため、養殖魚のブランド化や赤潮対策の取り組みに対して補助金を交付し、漁業の担い手確保と人口減少の歯止めに取り組みんでいます。

今後の委員会活動の参考とし、住みよいまちづくりに進みます。

